

【イベントレポート】ジャパンエンターテイメント代表加藤＆アトラクション担当社員が語る！テーマパークで働く魅力～アトラクション編～

先日開催された採用イベントでは、ジャパンエンターテイメントの代表である加藤さんとアトラクション担当社員の新井さんが登壇し、具体的な業務内容の説明や参加者との質疑応答を行い、



代表取締役 加藤 健史さん(写真左)
新井 早優美さん(写真右)

アトラクション担当の仕事とは？経験者が語る仕事のやりがい

新井さんは、ジャングリアのアトラクション「ファインディング・ディナソーズ」を担当しており、このアトラクションの仕事内容を紹介してもらいました。

—アトラクション担当のやりがいは何でしょうか？

新井：アトラクションの仕事は、ただアトラクションを運営するだけでなく、来場者に最高の体験と思い出を提供することが大切です。テーマパークには様々なお客様が訪れるため、幅広い世代の方と接する機会があり、多くの方に最高の思い出を提供できる非常にやりがいのある仕事です！

加藤:私も新卒でテーマパークのアトラクション担当としてキャリアをスタートさせたのでその時を思い出してお話しすると、やはりお客様に楽しんでもらっているというのが一番のやりがいでしたね。あとはチームの皆さんのが成長していくアトラクションの責任者となっていくのを見るのが嬉しかったです。

ーアトラクション担当のお仕事はどんな内容でしょうか?

新井:アトラクション担当の仕事は、単一の業務だけでなく、様々なポジションをローテーションで担当することが特徴です。例えば、

- グリーター:アトラクションの入り口で来場者を迎える、案内をする
- グルーパー:来場者のグループ分けや乗り場への誘導を行う
- ローダー/アンローダー:来場者の乗り降りのサポートや安全確認を行う

などの役割があり、これらのポジションをチーム内でローテーションしながら担当することで、様々な業務を経験し、スキルアップを目指します。

JUNGLIAへ入社後は、それらの業務を行うための研修やゲストの皆様に安全に楽しんでもらうための研修を受けてもらい、その後実地演習を行います。



ーアトラクションの役割はどうやって決まるのでしょうか?

新井:アトラクションには様々な役割(ポジション)がありますが、1日中同じポジションを行うわけではなく、時間ごとにローテーションし、多角的なスキルを身につけてもらいます。例えば、3~4人のチームを組んで、30分ずつ「グリーター」「グルーパー」「ローダー」と担当し、1時間半勤務したら休憩に入る、といったイメージです。

加藤:同じ役割をずっと行ったほうが効率がいいのではと思うかもしれません、アトラクション担当はゲストの安全確保のために集中力が必要です。ずっと同じ業務を続けていると注意力が落ちていくので、細かくローテーションすることで集中力を維持し、安全度を高める狙いもあるんです。

ー具体的に入社後にはどのような研修がありますか?

新井：研修内容は、安全に関する知識、接客スキル、アトラクションの操作方法など、多岐にわたります。まず、座学研修では、パークの運営に関するマニュアルを使用し、安全に関する知識や接客の基本などを学びます。その後、実地研修として、実際の施設でトレーニングを行います。アトラクションの操作方法や、お客様への案内方法などを、先輩ナビゲーターから学びます。例えば、「ファインディングダイナソーズ」だと、トロッコの運転練習や、ゲスト役をおいたシミュレーションなども行っています。

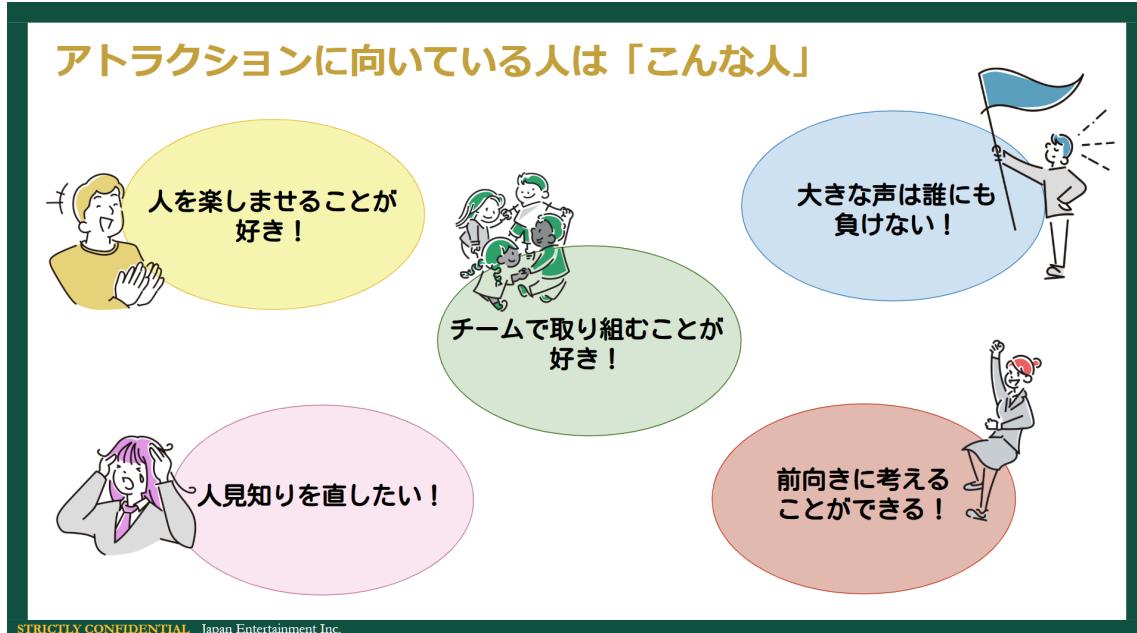
—アトラクション担当はどのような人が向いているのでしょうか？

新井：例えば、

- 人と接することが好きで、明るく元気な対応ができること
- 大きな声で来場者を盛り上げることができること
- 常に周りの状況を把握し、安全に気を配ることができること
- チームワークを大切にし、仲間と協力して仕事に取り組めること

というような要素を持ち合わせている人は向いていますね。ただ、最初からできる必要はなく、『そんなことができるようになりたい！』という気持ちを持っていることが大事です。

加藤：確かに、『とりあえず、好きにゲストを楽しませてください！』というように投げ出されたら、どれだけ社交的な人でも中々難しいとは思いますが、JUNGLIAでは全てのアトラクション、施設ごとにコンセプトがあるんです。そのコンセプトに合わせた形でどのようにゲストに対応するかという指針があるので、本人がやりたいという気持ちがあればできるようになると思いますね。もちろん、安全管理などには細心の注意が必要なので簡単な仕事ではないですが、ゲストへの対応という観点で役割を演じきることで、トレーニング次第で誰でもできるようになります。



質疑応答で不安を解消！

Q1. 研修はどこで行いますか？

新井:研修は、パーク内外の研修施設で行います。座学研修と実地演習があるとお伝えしましたが、座学研修はパーク外で行って実地演習は一部すでにパーク内で行っています。

加藤:これから入社いただく方々はパーク内での研修が増えると思います。Aというアトラクションはパーク内、Bというアトラクションはパーク外の研修施設で先に練習をする、というようにオープン準備状況に合わせて調整する予定です。



Q2. 別アトラクションへの異動はできますか？

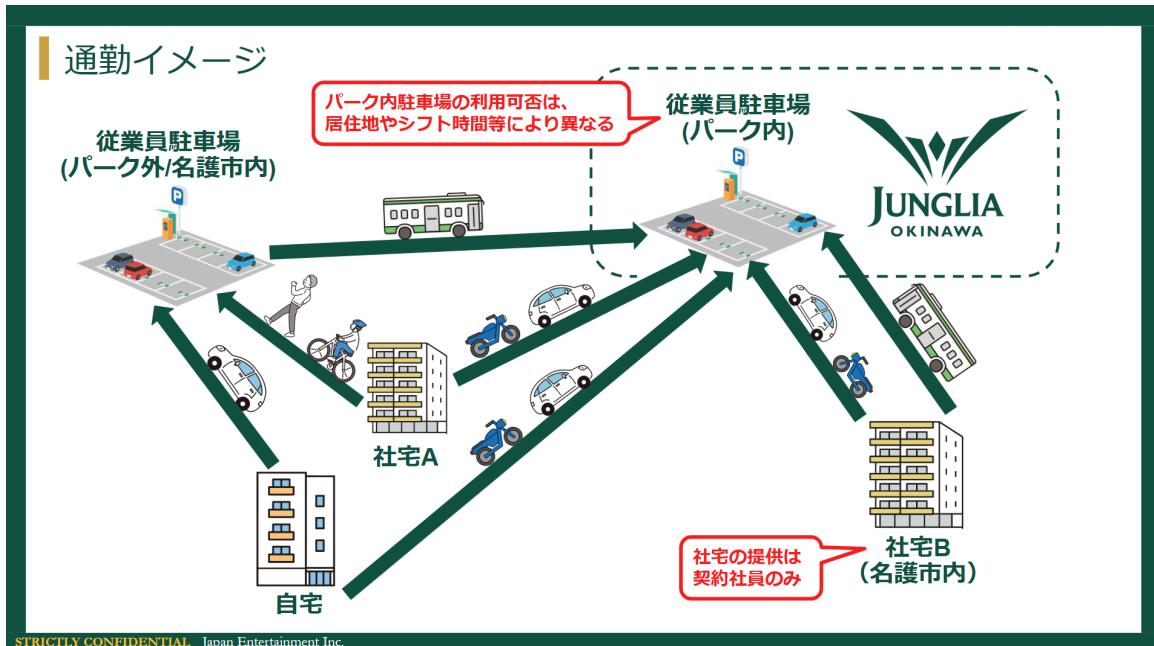
加藤:別アトラクションの異動についてはできるというより是非やってほしいとお願いをすることも多いと思います。さらにJUNGLIAではオープン後も新アトラクションを増やしていく予定です。新アトラクションをオープンする際には全てのナビゲーターを新人の方にするのではなく、経験者と新人の方をバランスよく配置したほうがゲスト満足度も高くできるので、既存のアトラクションで経験を積んできた方に異動をお願いすることもありますね。半年から1年単位でそういったお願いをすることになると思うのですが、今までの経験上、異動をお願いする頃には自分が担当してきたアトラクションへの愛着が沸いて、異動したくないと言う人が多いですね(笑)

Q3. 髮型や服装の規定はありますか？

新井:まだ細かい規定は決まっていませんが、髪型や服装については、パークのブランドイメージや安全基準に沿った髪型や服装が求められます。ただ、時代の変化に合わせて柔軟にスタッフの個性を尊重する方向での規定を検討しています。

Q4. 通勤手段はどうなりますか？

新井:スタッフの通勤手段は主に自家用車やバイク、原付を想定しております。また、パーク外の駐車場も用意し、パークまでのシャトルバスを運行する予定です。パーク内駐車場は、主にシフトの時間帯の都合上送迎バスが運行されていない時間帯に出退勤を行うスタッフの利用を想定しています。



Q5.キャリアアップの制度はありますか？

加藤:年齢に関係なくJUNGLIAで働いていただく方々が自分のなりたい姿に成長でき、キャリアアップが実現され、その結果として給料が上がっていくためにはどうすればよいか、ということを日々考えています。キャリアアップというと基本はマネージャーなどの管理職を目指す『縦方向へのキャリアアップ』を思い浮かべると思います。ただ、プレイヤーとして現場の仕事を極めたい、という方にもキャリアは開かれるべきと考えています。複数のアトラクションや部門を経験し、幅広いスキルをつけ、物販や飲食など、様々な部門を経験することで、パーク全体の知識を深め、より高いレベルのサービスを提供できる人材を目指す『横方向のキャリアアップ』も評価されるべきですし、JUNGLIAでは縦方向のキャリアアップはもちろん、横方向のキャリアアップでも、給料が上がるような仕組みを検討中です。

加藤:契約社員から正社員への登用制度も構築中で、正社員の公募は、社内にも告知され、希望者は応募することができるようにならうと考えています。あとは経験や能力などを考慮し、正社員として活躍できると感じる人材には正社員へのチャレンジをオファーをすることもあると思います。

JUNGLIAで最高の思い出を！

イベントの最後に、加藤さんと新井さんから、参加者へ熱いメッセージが送られ、新井さんは自身の経験を振り返り、「テーマパーク運営に関わるというのは感動の連続です。ぜひJUNGLIAと一緒に最高のテーマパークを創り上げましょう！」と呼びかけ、加藤さんは、「JUNGLIAは沖縄から日本の未来をつくる」という大きなビジョンを持っています。このビジョンに共感した方は、私たちと一緒にぜひ働きましょう！」と語りかけました。JUNGLIAでは、アトラクション担当として、ゲストに最高の思い出を提供するだけでなく、自身の成長も実感できる魅力的なキャリアが待っています。新しいことにチャレンジしたい方、成長を実感したい方、そしてゲストの笑顔をつくりたい方、ぜひJUNGLIAであなたの力を発揮してみませんか？

沖縄に誕生する新たなテーマパーク「ジャングリア沖縄」では、ゲストに最高の体験を提供するアトラクション担当スタッフを募集しています。

►アトラクション担当の仕事内容は[こちら](#)をクリック！